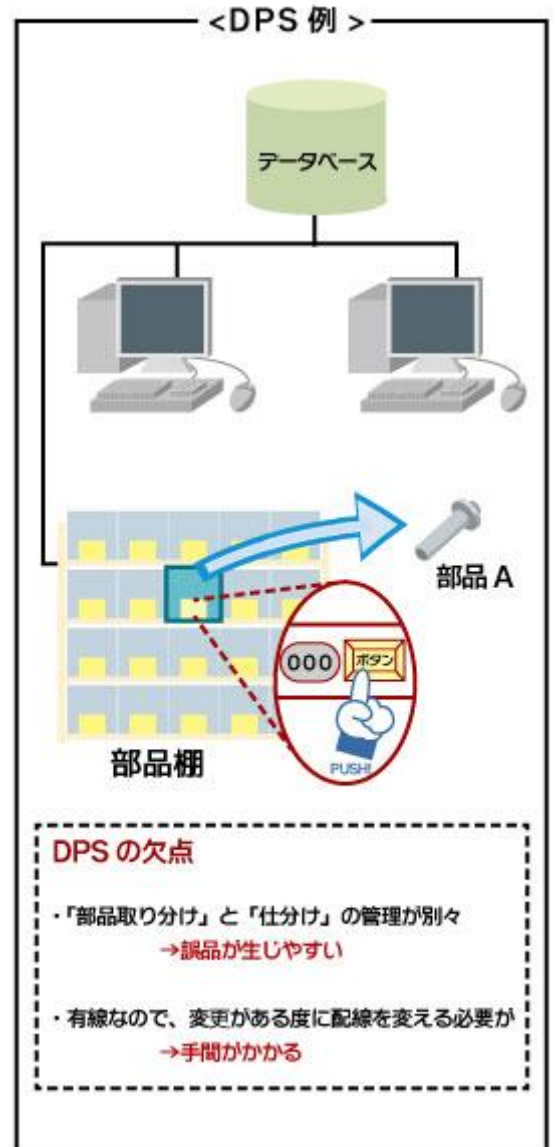
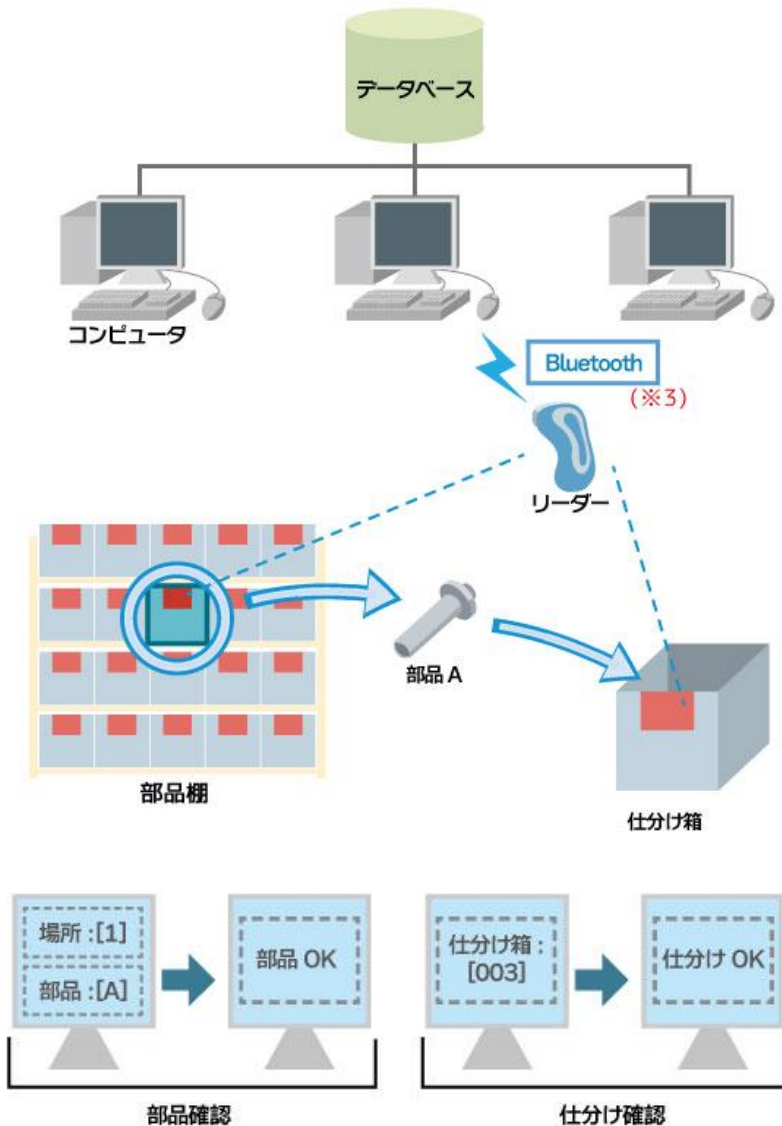


RFIDタグを使ったピッキングシステム

RFID^(※1)タグを使ったピッキングシステムの開発により、「時間のロス・コスト・誤品」を減らすことが可能になりました。

下図は、従来のDPS(デジタルピッキングシステム)^(※2)との比較を表しています。

《RFIDタグを使ったピッキングシステムの場合》



RFIDタグを使ったピッキングシステムなら、仕分け先まで一括管理！

部品の取り間違い、仕分け先間違いを失くす**二重のチェック**！

リーダーの読み取り判定結果を、手元のリーダーで**確認可能**（振動および音など）

RFIDタグの読み取りで、棚や箱を判別

注：(※1~3)は裏面に用語説明が記載されています。

■ 用語説明 ■

※1 RFID とは

- ・ Radio Frequency Identification（電波方式認識）の略称。
- ・ 電波による非接触自動認識技術のこと。
- ・ ヒトやモノに取り付けたタグの識別情報を、リーダーが電波を介して読み取り、自動的に対象物を識別するシステム。
- ・ 衝撃、振動、湿度、水、温度、ホコリなどにも影響されない。

※2 DPS(デジタルピッキングシステム)とは

- ・ 商品や部品が入っている棚などにデジタル表示機を設置し、その表示機の指示に従って、目的の商品や部品を取っていく作業支援システム。
- ・ 作業者は、表示機のライトが光る場所で、表示されている数の物品を取り出す。

※3 Bluetooth とは（「Bluetooth」は、米国 Bluetooth SIG INC の登録商標です。）

- ・ 高度なセキュリティを維持したまま、ケーブルを使わずに、電波でパソコンや携帯電話を接続し、データ通信を行う近距離無線通信技術の一つ。
- ・ 全世界で共通の仕様。

有限会社テクノフュージョン

〒460-0011 名古屋市中区大須四丁目1番71号矢場町中駒ビル905

TEL (052)259-2633
FAX (052)259-2632
e-mail info@tfusion.co.jp

